

和服着装に関する研究 (第4報)

—— 女子大生の袴利用について ——

豊田幸子・山本寿子

Studies on the Dressing of Japanese Style Clothes (IV)

— Use of *Hakuma* by Women University Students —

Sachiko TOYODA and Hisako YAMAMOTO

緒 言

和服は先人による長い生活や慣習の中から築き上げられ、今日まで伝承されてきた日本の民族衣裳である。しかし私たちのライフスタイルの中で、和服の着装も日常着から儀式や趣味的な着用へと変化してきた。このような流れの中で、現代生活に適した伝統衣裳としての和服の着装形態について考察し、教育に生かしていきたいと考える。

前報では名古屋女子大学学生の卒業時における卒業式と謝恩会での和服の利用についての実態を報告した¹⁾。その結果、女子大生の卒業式の服装では着物に袴の組合せという着用形態が90%以上を占めており、袴の利用の多い事が把握できた。引き続き本報では、女子大生の袴の利用についての実態を明らかにしたので報告する。

方 法

調査内容は女子大生が利用する袴着用の機会、種類、構成及び素材と価格とした。

袴の縫製店及び販売店での聞きとり調査は名古屋市内及びこの近郊で16件、京都市内2件、東京都内4件であり、調査時期は1995年10月から1996年8月である。女子大生の袴着用の機会の実態調査については、名古屋女子大学短期大学部生活学科の1・2年生200名を対象にした。

結果及び考察

1. 女子大生の袴利用状況

平成8年度在学の名古屋女子大学短期大学部生活学科の1・2年生200名(愛知、岐阜、三重、静岡県に在住)を対象に、現在までの和服着用経験の機会と種類について回答を求めた結果のうち、着用機会を表1に示す。この中で袴の着用があるとみられる場合に※印をつけたが、“祭り”、“稚児”、“剣道”、“弓道”、“日本舞踊の発表会”、そして“巫女”をはじめさまざまなイベントの“アルバイト”等がみられた。また名古屋女子大学には、平成8年5月現在では能楽部12名、狂言同好会7名、弓道同好会20名が在籍しており、女子大生の生活の中にも袴の着用の機会がうかがえる。

以上のアンケートやクラブ活動の種類等を参考にしてみると、女子大生の卒業式スタイルとして定着してきている着物と袴の着用を第一として、能楽・狂言や日本舞踊等の芸能関係、さらに弓道、剣道、薙刀、居合等の武道関係、そして現代の大学生が経験するアルバイトから巫

女やさまざまなイベントでのモデルとして袴や胴着と袴の組合せの着用等がみられる。

2. 袴の種類及び構成寸法

前述したさまざまな機会に着用される袴の種類と構成寸法についての文献調査をした。年代順に昭和30年の奈良女子高等師範学校裁縫研究会²⁾、松井和哥氏³⁾、藤田とら氏⁴⁾、清水とき氏⁵⁾、岩松マス氏⁶⁾、大塚末子氏⁷⁾、堀越すみ氏⁸⁾、波多江穂野氏⁹⁾、興津佳平氏¹⁰⁾¹¹⁾、滝沢

ヒロ子氏¹²⁾、藤本やす氏¹³⁾らが出版された裁縫書に袴の記載がみられた。内容としては“大裁女袴”の襠が無いいわゆるあんどん袴と呼ばれるもので、前に五つ襷、後に三つ襷がある形式を図1-Aに示す。“大裁男袴”は襠が有り、馬乗り袴ともいわれる形式で前に五つ襷、後に一つ襷がみられ、後上部に腰板がつく形式で図1-Cに示す。この男袴にはほぼ同形である仕舞袴を図1-Dに示す。これは能楽での謡曲の仕舞用であり、普通の袴に比較して

表1 和服着用の経験に関する調査集計(複数回答)

N=200

和服着用の機会	人数	(%)	和服着用の機会	人数	(%)
七五三	170	85.0	※巫女(ハイト)	4	2.0
※祭り(夏祭り, 神楽等)	95	47.5	雛祭り	4	2.0
正月(新年会)	56	28.0	街着・普段着として	3	1.5
花火大会	46	23.0	授業で着用(高校)	3	1.5
盆踊り	44	22.0	十九歳の厄よけ	3	1.5
※稚児	28	14.0	琴の発表会	3	1.5
結婚式	27	13.5	※日本舞踊の発表会	3	1.5
※ハイト(胴着と袴, 絆, 法被)	14	7.0	茶会	2	1.0
※剣道	10	5.0	柔道	2	1.0
宮参り	9	4.5	十三参り	2	1.0
※弓道	7	3.5	コンサート	2	1.0
文化祭(部活の演劇等)	7	3.5	九歳の祝い	1	0.5
学芸会	6	3.0	就学旅行の舞妓体験	1	0.5

※は袴着用の場合

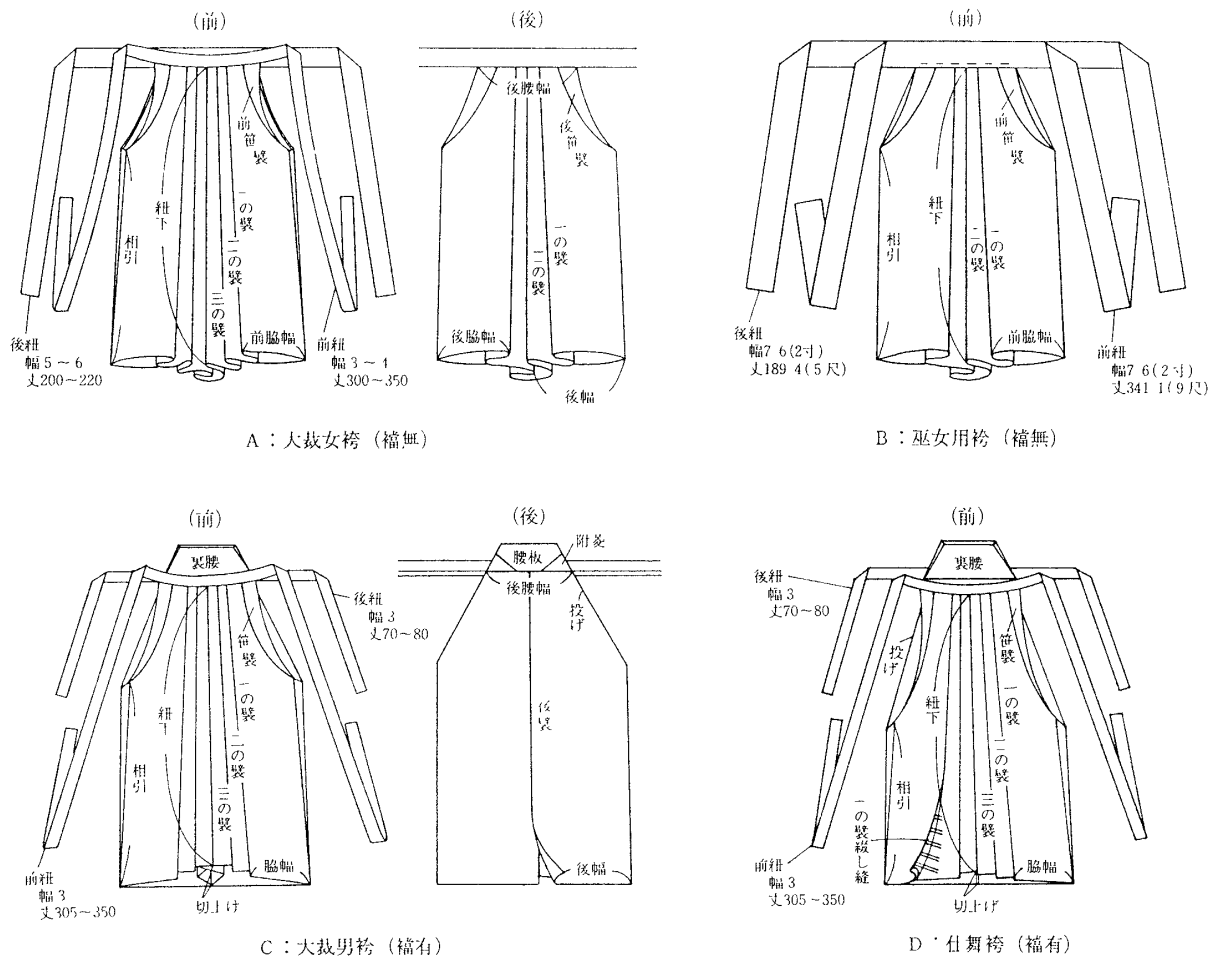


図1 袴の構成及び名称 (単位: cm)

表2 大裁女袴・大裁男袴・仕舞袴寸法表

(単位, cm)

名称	種類 項目	大裁女袴		大裁男袴		仕舞袴				
		割り出し方	寸法	割り出し方	寸法	割り出し方	寸法			
							女物	男物		
紐	下	長着の着丈×7/10, 身長×57/100	87.5~93	長着の着丈×6/10 又は+2~4	82~88	着丈×6/10 又は+4	85	83~87		
相	引	紐下×2/3+2~5	61~66	紐下×2/3又は+2	55~60.6	紐下×1/2±3	45	37~40		
後	幅	長着後幅+2	30~31	長着後幅と同寸又は+1~2	30~31	長着後幅+2	30	32		
後	脇幅	後幅×3/4	22.5~23.2	-	-	-	-	-		
後	重なり	後幅×1/10~1/8	3~4	上	後幅×1/10	3~4	-	-		
				下	後幅×1/20~1/10	1~3				
後	寄裏幅	上	後幅×1/8	3.7~4	-	-	-	-		
		下	後幅×1/4	7.5~8	-	-	-	-		
後	腰幅	後幅と同寸	30~31	後幅×3/4+2~3	25~26	後幅×3/4+2	24	26		
後	笛裏幅	中折	前中折と同寸	3.5	-	-	-	-		
		上り幅	後脇幅×1/4	5.5~5.8	-	-	-	-		
前	脇幅	後幅×3/5又は-0.5	18~19	後幅×3/5又は-0.5	17.5~18.6	後幅+下寄裏幅×2	18.4	20		
前	重なり	後幅×1/10~1/8	3~4	ふところひた×1/2	5~6	12内外	12	13		
前	寄裏幅	上	後幅×1/10	3	後幅×1/10	3	下幅×1/2	2.9	3	
		下	後幅×1/5又は-0.4~0.5	5.5~6	後幅×1/5又は-0.5~0.8	5.4~6	後幅×1/5強	5.8	6	
前	腰幅	後腰幅と同寸又は+1~2	30~32	後幅と同寸	30~31	後幅と同寸	30	32		
前	笛裏幅	中折	前脇幅×1/4-1	3.5	前脇幅×1/4+0.4	5	-	-		
		上り幅	前脇幅×1/4	4.5~4.7	前脇幅×1/4又は-0.4	4.2~4.7	前脇幅×1/4	4.6	5	
※後	紐	幅	後幅×1/5又は-0.5	5~6	後幅×1/10	3	-	2.8	3	
		丈	・胴回り×2.5 ・後幅×7内外 ・胴囲+結び分(100~120)	200~220	・後幅×2.5~2.7強 ・胴囲×1/2+結び分(30)	70~80	後幅×2.5	72	80	
※前	紐	幅	後幅×1/8	3~4	後幅×1/10	3	-	2.8	3	
		丈	・胴回り×3.5 ・後幅×10~11 ・胴囲×3+結び分(60~90)	300~350	・腰囲×1/3+7~8 ・後幅+5~6 ・腰囲の直径+3~5	305~350	後幅×11	310	350	
切	け	襦	有	-	-	6	-	2	3~4	
		襦無	後	-	-	2	-	-	-	
			前	-	-	4	-	-	-	
※	襦の	高さ	-	-	・紐下×1/3~2/5~1/2 ・相引-20 ・紐下×1/3-5~13	27~50	紐下×1/2-3	32	40	
※	乗	間	-	-	・腰囲×1/3+7~8 ・後幅+5~6 ・腰囲の直径+3~5	35~38	後幅と同寸	30	32	
腰	板	上	-	-	後腰幅×2/3	16.6~17.4	下幅×2/3	16	17.4	
		下	-	-	後腰幅と同寸	25~26	後腰幅と同寸	24	26	
腰	板	高さ	-	-	後腰幅×1/3+0.3~0.5	8.7~9	腰板幅×1/2+0.5	8.5	9.2	
附	菱	幅	-	-	後腰幅×1/3 又は+0.5~0.8	8.3~9.1	後腰幅×1/3	8	8.7	
※	附	菱	高さ	-	-	・腰板高さ×1/2+0.5~0.8 ・腰板斜線×1/2+0.8	5~6	腰板斜線×1/2 +0.8	5.5	5.9
ふ	と	こ	ろ	ひ	た	-	-	-	-	
前	後	の	差	0又は4	0又は4	体型・着付け・好みによる	2~4	4.5	3~7	

表3 仕立上がり袴(襦有・襦無・注文)の種類と価格

分類	品名	材質	色・柄の数と種類	縫製方法	価格	
1	正絹 袴	絹100%	無地袴	24色	手縫仕立	88,000円
			スーパーI無地袴 (ラメ糸使用の細縞)	7色	手縫仕立	93,000円
			スーパーII無地袴 (ラメ糸を使用しない細縞)	7色	手縫仕立	93,000円
			無地紋袴	紋2種,各7色	手縫仕立	93,000円
			スペシャル縞柄袴	縞7種	手縫仕立	88,000円
			超テラックス縞柄袴	縞14種	手縫仕立	93,000円
			ウルトラ縞柄袴	縞7種	手縫仕立	98,000円
			道中袴	縞3種	手縫仕立	75,000円
			錦欄紋袴(金銀糸使用)	紋10種(浅黄,白)	手縫仕立	105,000円
	平常袴 正絹紬 (腰板付)	数種	手縫仕立	※ 75,000円		
	平常袴 正絹網織紬 (腰板付)	数種	手縫仕立	※ 83,000円		
	御袴 小久保仙台平 襦有	縞2種	手縫仕立	63,000円		
	2	絹交織袴 無地袴	(経)プロミックス 100%	21色	ミシン縫製	47,000円
絹交織袴 縞柄袴		(緯)絹100%	縞21種	ミシン縫製	47,000円	
絹交織袴 上記手縫仕立上り			21色,縞21種	手縫仕立	55,000円	
3	東洋紡シノン袴 無地袴	プロミックス 100%	13色	ミシン縫製	36,000円	
	東洋紡シノン袴 縞柄袴		縞21種	ミシン縫製	36,000円	
	東洋紡シノン袴 縞縞袴 (夏物)		縞7種	ミシン縫製	38,000円	
4	道中袴 シルクウール紬 襦有	(経)絹 (緯)ウール	茶,紺,鼠色	手縫仕立	21,000円	
	道中袴 シルクウール紬 襦無		茶,紺,鼠色	手縫仕立	19,500円	
5	ウール縞柄袴	毛100%	縞4種	ミシン縫製	21,000円	
	平常袴 純毛紬地 (腰板付)		数種	ミシン縫製	※ 24,000円	
	平常袴 純毛ポーラ地 (腰板付)		数種	ミシン縫製	※ 24,000円	
	平常袴 舶来モヘア地 (腰板付)		数種	ミシン縫製	※ 44,000円	
	平常袴 ウーステット地 (腰板付)		数種	ミシン縫製	※ 26,500円	
6	木綿袴	綿100%	無地3色,縞3種	ミシン縫製	22,000円	
7	狂言用半袴	麻100%	柄	-	70,000円 #色柄により変動あり	
	狂言用長袴		柄	-	120,000円 #色柄により変動あり	

*印の襦有は1,500円品

脇の相引が低いので明きが多い事、襷が開かないように後襷及び前三の襷は片襷とし前一の襷は綴じつけてある。以上の3点は前述した裁縫書^{2)~13)}にも構成寸法とともに記載があり、構成寸法の割り出し方や寸法についてまとめたものを表2に示す。*印のついている所では割り出し方のまとめられないものはそのまま羅列した。三つの袴の構成寸法を比較すると、相引すなわち袴の脇縫いの部分が、女袴では61~66cmに対し仕舞袴は45cmと少ないことは、女袴と比較して16~21cmも脇の明きが多いことであり、男袴でも相引55~60.6cmに対して仕舞袴は37~40cmで18~20.6cmの差があり、この分脇の明きが大きくなる。次に後紐の丈であるが、女袴は200~220cmに対して男袴と仕舞袴は70~80cmである。女袴は後紐が右端から左端までひと続きの寸法であるが、男袴や仕舞袴の後には25~26cm幅の腰板がついて後紐はこの腰板の左右につくので、片方の紐の長さが70~80cmの寸法で後紐寸法になっている。

図1-Bの巫女用袴は、裁縫書での記載がなく、名古屋市内の袴縫製店での聞きとりにより構成図とした。女袴と同様に襦無であり、前後ともに三つ襷であり、紐幅が前後とも7.6cmと

広く、前後身頃の紐付けの際に白の打紐で上刺しをした構成である。

以上女子大生が着用する袴の基本的な種類と構成寸法について述べたが、これらの仕立上り袴の種類と価格について京都市内の2社で調査した結果を表3に示す。この2社では神宮関係や能・狂言の装束も扱う所である。注文袴の場合、素材は絹が主体であり、金銀糸が入る紋織柄の場合105,000円から仙台平の縞で63,000円までの12段階がみられた。次に絹によく似た素材で、扱いが手軽であり低価格である化繊の袴地では東洋紡績が昭和52年に商品開発したプロミックス繊維の商標名シノンがみられた。絹との交織地の袴では47,000円であり、手縫仕立ては8千円高となる。プロミックス100%生地では36,000円で夏物の縞は38,000円であった。ウール地は21,000円から44,000円までの5段階があった。ここで図中の*印がつき品名に平常袴とあるのは男袴の構成であるが襠が無く、馬乗りが出来ない仕立てで、普段着の意味である。最近では男子の成人式用とか結婚式用の礼装用袴や茶道での男子の袴はこのあんどん仕立が多い。木綿生地は無地、縞があり22,000円であった。

3. 女袴（襠無・あんどん袴）の利用について

1) 卒業式

女子大生の卒業式スタイルとして定着した着物と袴の組合せは今や高校生から幼稚園の卒園式そして七五三の宮参りにまで流行している現状である。卒業式用の女袴はよほど特殊な体型か前述した注文袴等の上等な素材でない限りは、既製品を購入するかほとんどがレンタル袴である。

卒業式用既製女袴の種類と価格について、名古屋市内と京都市内での2社で調査した結果を表4に示す。適合身長は150~165cmまであり、S、M、Lの表示があった。種類としてウールの無地や刺繍入りが13,000~25,000円、ポリエステル合繊でぼかし柄が30,000円であった。調査した名古屋市内の会社や百貨店においても、既製品の袴は実物がすべておいてあるのではなく、3月頃の卒業式シーズンでも扱う所は少なく、あっても1~2点のサンプルとあとはカタログで注文するのであり、試着も不可能な状態であった。

現在では非常に多く利用されているレンタルの卒業式用袴は、3月の卒業式シーズンには貸衣裳店が百貨店からスーパーにまで入っており、最近では写真館までが結婚式、成人式はもとより卒業式も貸衣裳とセットで記念写真販売を行っている。名古屋市内8ヶ所、東京都内4ヶ所での平成8年3月の卒業式用貸衣裳女袴の種類とレンタル価格を調査した結果を表5に示す。袴の種類はウールや化繊の“無地”はレンタル料が5,000~13,000円であった。“ぼかし”は同系色の濃淡のものと異色の組合せのぼかし模様とあり、化繊で10,000円前後の価格が多かった。“刺繍”の袴は無地やぼかしがあり10,000円から13,000円位が多いようである。これらの着装写真を平成8年3月の名古屋女子大学の卒業式に撮影したものを図2に示す。“無地”は図2

表4 卒業式用既製女袴の種類と価格

分類	品名	材質	色・柄		サイズ						上代価格
					S		M		L		
			数	種類	適合身長	紐下丈	適合身長	紐下丈	適合身長	紐下丈	
1	ウールあんどん型	毛100%	無地 5色	緑、隣脂、 紫、紺、濃紺	150~ 155cm	89~91cm	155~ 160cm	91~93cm	160~ 165cm	93~95cm	13,000~ 18,000円
2	ウールあんどん型刺繍入	毛100%	無地 2色	紫の地色に桜・藤・蝶 濃紺の地色に桜・蝶	約155cm	91cm	約160cm	93cm	約165cm	95cm	25,000円
3	合繊ぼかしあんどん型	ポリエステル 100%	ぼかし 3種	紫のクラデーション、 隣脂・濃紺、緑・黒	約155cm	89cm	約160cm	93cm	約165cm	97cm	30,000円

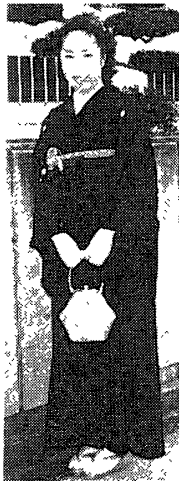
表5 卒業式用貸衣装女袴の種類と価格

場所	種類 袴の柄 材質、価格 店名	袴のみ								着物と袴のセット							
		無地		ほかし (同・異色)		刺繍 (無地、ほかし)		染柄 (無地、ほかし)		無地		ほかし (同・異色)		刺繍 (無地、ほかし)		格子・絞柄	
		材質	レンタル 価格	材質	レンタル 価格	材質	レンタル 価格	材質	レンタル 価格	材質	レンタル 価格	材質	レンタル 価格	材質	レンタル 価格	材質	レンタル 価格
名古屋	N 衣裳店	ウール, カシミア	6,000	化繊	10,000	化繊	12,000	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	MA 衣裳店	ウール, カンミア	7,000	化繊	8,000~ 9,000	-	-	-	-	-	-	化繊	30,000~ 45,000	-	-	-	-
	D 衣裳店	化繊	8,000	-	-	-	-	-	-	化繊	40,000	化繊	30,000~ 40,000	化繊	30,000~ 40,000	-	-
	MI 衣裳店	ウール, リエステル	5,000 8,000	ポリエステル	10,000	ポリエステル	15,000	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	C 衣裳店	ウール 化繊	6,000 8,000	化繊	10,000	化繊	10,000~ 13,000	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岐阜	A きもの店	ウール, カンミア	5,000	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	S 乃良館	-	-	-	-	-	-	-	-	ウール, カンミア	25,000	化繊	25,000	化繊	25,000~ 35,000	化繊	35,000
	M 百貨店	ウール	8,000	化繊	10,000	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
東	M 百貨店	ウール	8,000	ポリエステル	8,000	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	O 百貨店	ウール	7,000	化繊	10,000	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	京	T 百貨店	-	5,000~ 13,000	-	5,000~ 13,000	-	5,000~ 13,000	-	5,000~ 13,000	-	-	-	-	-	-	-
Y 衣裳店		-	7,000~ 9,000	-	8,000	-	9,000	-	9,000	-	-	-	-	-	-	-	-

— A, “ほかし”はE, “刺繍”はB, Gのように裾にあたり, Fは紐にワンポイントのもの, さらに写真Dのように無地袴の後紐にブランド名が刺繍されたものも目についた. “染柄”の袴は無地又はほかしの生地には赤や金箔等の目立つ図柄と配色であった. 図2-Cのように目立つ赤い花柄やHのように前裾全体に金箔を主とした染柄をした袴もみられた. 今回の名古屋女子大学の卒業式では写真撮影は出来なかった図2の写真Cは鈴乃屋レンタルブティック有規, Fは小田急百貨店の新宿店衣裳サロン, Hは東武百貨店の池袋店プライダルサロンでの1995年のカタログより採取した. 写真I, J, Kは今までの卒業式用袴としては異色の柄と思われるもので, 表5に示す着物と袴のセットでしかレンタルされないファッションデザイナーらによるブランド品である. 写真Iは細かい縞が入った縞柄の袴と紐の裏の赤と同色の地色に大輪の花や茎, 葉を絵縞としてプリントした着物がセットされたものである. 写真Jは0.5cm正方の黒・白市松模様で, 袴の紐は黒としてそれに合せた真赤な着物に黒の重ね衿がセットされている. 写真Kは10cm程の黄色の濃淡の斜め縞を縞で織り出した模様がプリントされた柄で, やはり袴の紐の裏の赤と同色の無地の着物とセットされている. この3点は袴に異色の図柄を入れて目につくものであり, 価格25,000~35,000円であるが, 他の衣裳店での価格45,000円の高価なものは袴は無地で着物の方に袴を着用した時にも見える左肩から袖にかけてワンポイントの華やかな模様のあるセットもみられて, 卒業式の着物と袴の組合せも年々派手な, 目立つ事を意識したものになってきていると考える.

2) 弓道

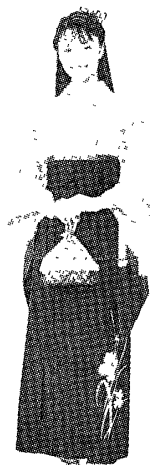
女子が参加する袴着用は剣道, 弓道, 薙刀, 居合等があるうち弓道は女子の場合襦袢無の女袴を使用する. 弓道具専門店やスポーツ用品店等で練習用として既製品が扱われており, 名古屋市内及び近郊での3社で聞きとりした種類と価格を表6に示す. 適合サイズは身長125cm



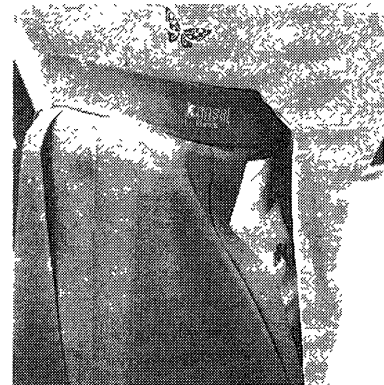
A : 無地袴



B : 無地に刺繍袴



C : 無地に染柄袴



D : 後紐にブランド名刺繍袴



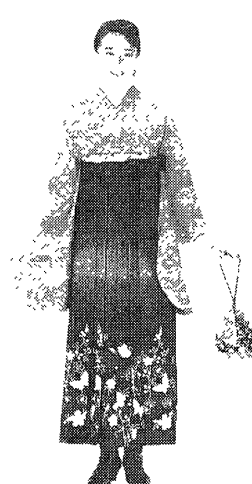
E : ぼかし(異色)袴



F : ぼかし(同色濃淡)の紐に刺繍袴



G : ぼかし(異色)に刺繍袴



H : ぼかし(異色)に染柄袴



I : 緋と縞袴



J : 市松模様袴



K : 斜め緋模様袴

※写真A, B, D, E, G, I, J, Kは1996年3月名古屋女子大学卒業式にて撮影
写真Cは鈴乃屋レンタルブティック有規(1995年)カタログより, 写真Fは新宿小田急百貨店衣裳サロン(1995年)カタログより, 写真Hは池袋東武百貨店ブライダルサロン(1995年)カタログより

図2 卒業式用袴の着装種類

表6 弓道袴 (襦無・既製品) の種類と価格

分類	品名	材質	色・柄	サイズ別価格 (単位 円)										
				号数	20	21	22	23	24	25	26	27	28	
				適合身長 (cm)	125	130	135	140	145	150	160	165	175	185
1	弓道袴 ポーラ	ポリエステル100%	甲, 紺	6,500	6,500	6,500	6,500	6,500	6,500	6,500	6,500	6,500	6,500	
	弓道袴 カンミヤトスキン		甲, 紺	6,500	6,500	6,500	6,500	6,500	6,500	6,500	6,500	6,500	6,500	
2	弓道袴 女子用	ポリエステル65%・レーヨン35%	甲, 紺	-	-	7,100	7,300	7,500	7,700	8,000	8,300	-		
	弓道袴 ポプリン		甲, 紺	6,500	6,500	6,500	6,500	6,500	6,500	6,500	6,500	6,500		
3	弓道袴 綿袴	ポリエステル65% 綿35%	数種	6,500	6,500	6,500	6,500	6,500	6,500	6,500	6,500	6,500		
4	弓道袴 綿ウール 並	ウール100%	数種	12,000	12,000	12,000	12,000	12,000	12,000	12,000	12,000	12,000		
	弓道袴 綿ウール 上		数種	12,000	18,000	18,000	18,000	18,000	18,000	18,000	18,000	18,000		

から185cmまでに20号から28号と9サイズがあり、材質と価格はポリエステル100%のものが6,500円、ポリエステルとレーヨンの混紡が6,500~8,300円で、これらの色は黒か紺である 縞柄のポリエステルと綿混紡が6,500円、ウール100%は12,000~18,000円の種類がみられた

3) 巫女

巫女用袴の構成は前述した卒業式用や弓道袴とは異なり襷の数が前3つと少なくなり、紐幅は前後の差がなく7.6cmと広がっている また紐の腰の部分に前後とも白の打紐での上刺しがあるのは、十二単の長袴との類似がみられる

巫女用袴の既製品は名古屋市内での1社にみられ、注文品は京都市内で1社、名古屋市内及び近郊の2社における合計4社の注文及び既製品の種類と価格について表7に示す 材質別に4種類の分類がみられた 既製品は分類4のポリエステルとレーヨンの混紡であり、紐下寸法によりS, M, Lの3種類で価格は20,000円であった その他注文品では絹が58,500~67,000円、ウールでは12,000~16,000円である ポリエステルでは帝人により1975年頃に開発されたアシェンティや羽二重の品名にみられるようにシルキーな風合いをもたせた6種類があり、価格も8,000円から20,000円と幅広い

4. 大裁男袴 (襦有・馬乗袴) の利用

1) 能・狂言

能・狂言装束において使用される男袴の構成の袴では、仕舞袴や狂言袴、そして直垂や素袍、袴での下衣としての袴類がある。仕舞袴の材質の種類と価格は前述した表3の分類1~4の素材と価格の種類がみられた 狂言袴は表3一分類

7で、麻の素材では70,000円であった 直垂や素袍そして袴などは上衣と下衣の袴で1セットの価格である 素材は麻の場合、直垂は袷仕立て250,000円、素袍上下は無地160,000円で、柄は200,000~250,000円であった 袴は正式な麻の長

表7 巫女用袴 (襦無・注文及び既製品) の種類と価格

分類	品名	材質	色	サイズ別紐下丈	上代価格
1	緋袴 塩瀬地	絹100%	緋	紐下丈により江文	67,000円
	緋袴 羽二重地		緋	紐下丈により江文	58,500円~60,500円
2	緋袴 純毛モヘア地	ウール100%	緋	紐下丈により江文	12,000円~16,000円
3	緋袴 ンルノク羽二重 (袷)	ポリエステル100%	緋	紐下丈により江文	16,000円~18,000円
	緋袴 ンヤクストロピカル		緋	紐下丈により江文	9,200円
	緋袴 変織羽二重 (袷)		緋	紐下丈により江文	9,000円
	緋袴 ンルキータトロノ		緋	紐下丈により江文	8,000円
	緋袴 アンエンティ (袷)		緋	紐下丈により江文	20,000円
	緋袴 アンエンティ (単)		緋	紐下丈により江文	17,500円
4	巫女用袴	ポリエステル65% レーヨン35%	朱	S 85cm M 89cm L 93cm	20,000円

表8 舞踊袴（襦有・既製品）の種類と価格

分類	品名	材質	色・柄		サイズ別紐下丈(cm)			上代価格	備考
			数	種類	S(小)	M(中)	L(大)		
1	ノルクウール 無地袴	絹50%・ウール50% (スコッチカートつき)	無地3色	茶, クレー, 紺	84	88	91	38,000円	あんどん型仕立て可
2	絹交織 無地袴	絹50%・ポリエステル50%	無地4色	紺, 鼠, クリーン, 茶	80	84	88	48,000円	
3	金欄ほかし染 柄物袴	レーヨン100% 金銀糸使用	柄3種 各3色	地色 クリーンホカノ, 紺ホカノ, ワインホカノ	79	83	87	37,000円	
4	金欄織 柄物袴	(経)レーヨン40%・ナイロン60% (緯)レーヨン100% 金銀糸使用	柄4種		80	84	88	25,000円~28,000円	
5	金欄ほかし染 柄物袴	(経)キュブラ100% (緯)レーヨン100% 金銀糸使用	柄1種	地色, 紺ホカノ	80	84	88	36,000円	
6	カラー 無地袴	(経)ポリエステル100% (緯)レーヨン100% 金銀糸使用	無地7色	茶, 若草, 紺, レンカ, カラシ, ヘーニュ, 藤紫	79~80	83~84	87~88	22,000円~25,000円	
	縞 袴		縞 7色	里(4), 茶, 金茶, 紺	79~80	83~84	87~88	19,000円~19,500円	
	ノルバル縞袴		縞 3種		80	84	88	43,000円	しわになりにくい
	表縞織・裏朱子織袴 (無双袴)		縞 3種		79	83	87	44,000円	無双の為地厚
	金欄織 無地袴		無地3色	紫・金, 里・金, 銀	79	83	87	29,000円	
	金欄織 縞袴		縞 1種	里・金	79	83	87	29,000円	
	金欄織 柄物袴		柄10種	里・金3, 紺・金2, 白・金, 紺・金・銀, 白・銀, 紫・銀, 紺・銀	79	83	87	29,000円	
7	縞 袴	ポリエステル50%・レーヨン50%	縞 6種	2~3色使い	80	84	88	18,500円~23,000円	
8	無地袴	ポリエステル60%・レーヨン40%	無地8色	金茶, 紺, クレー, 青, からし, 茶, 灰緑, 紫	80	84	88	23,000円	
	縞 袴		縞 7種		80	84	88	20,000円	
9	金欄織 柄物袴	レーヨン50%・キュブラ45%・ ナイロン5% 金銀糸使用	柄16種		80	84	88	26,500円~30,000円	
	金欄ほかし染 柄物袴		柄2種	地色 紫ホカノ, 緑ホカノ	80	84	88	38,000円	
10	金欄織 縞袴	キュブラ60%・レーヨン40% 金銀糸使用	縞 1種		80	84	88	26,000円	
	金欄織 柄物袴		柄 8種		80	84	88	25,000円~26,000円	
	金欄ほかし染 柄物袴		柄 4種	地色 紫ホカノ, 紺ホカノ	80	84	88	26,000円	

袴では無地150,000円、柄が180,000~230,000円である。正絹精好の仕舞用袴は145,000円となり、化繊地のプロミックス100%のシノン袴は105,000円、ポリエステル100%では68,000円と安価になってきている。

能装束における袴類には、他にも大口、半切、指貫、下袴等の種類があるが、今回は男袴の構成に準じた袴のみにとどめた

2) 日本舞踊

民謡などを含む動きのある日本舞踊で使用される舞踊袴は襦有の男袴の構成である。名古屋市市内での4社について調査した既製の舞踊袴の種類と価格について表8に示す。材質別に10種類に分類された。色柄では金欄織などの派手なものが多く、配色も豊富にそろっており、サイズは各社によってS, M, Lや小, 中, 大の表示であった。価格は18,500円のポリエステル50%・レーヨン50%の混紡から最高額48,000円の絹50%・ポリエステル50%による絹交織のものがみられた。舞踊用の直垂や袴等の上衣とセットになった袴には華やかな素材や色・柄も豊富に既製品でみられたが、直垂は絹で96,000円、化繊では36,000円で図柄も6種類~9種類と多種みられた。袴はポリエステルにレーヨンやナイロンさらに金銀糸を使用したりした7種類の化繊地がみられて、価格は40,000~78,000円であった。

3) 剣道

剣道では女子も男袴を使用する。名古屋市市内2社の調査による既製の剣道袴の種類と価格に

表9 剣道袴 (襦有・既製品) の種類と価格

分類	品名	材質	色	サイズ別価格 (単位 白円)																			
				号数	16	17	18	19	20	21	22	23	24	24.5	25	25.5	26	26.5	27	28	29		
				適合身長 (cm)	95 ~ 110	100 ~ 120	110 ~ 125	120 ~ 130	125 ~ 135	130 ~ 140	135 ~ 150	140 ~ 160	145 ~ 165	160 前後	150 前後	168 前後	160 前後	173 前後	165 前後	175 前後	185 前後		
1	大綾晒袴	綿100%	白	-	-	-	-	-	48	48	51	51	-	54	-	54	-	57	57	-			
	生成厚地袴		生成	-	-	-	-	-	-	-	83	83	-	83	-	83	-	83	83	-			
	綿袴		紺	20	24	24	28	28	32	32	36	36	-	40	-	40	-	41	41	-			
	紺厚地袴		紺	-	-	-	-	-	-	-	120	120	-	120	-	120	-	120	120	-			
	正紺 #5000		紺	-	-	-	-	-	-	-	130	130	-	130	-	130	-	130	130	-			
	#6000		甲	-	-	-	-	96	98	100	103	106	-	109	-	112	-	115	118	-			
	正紺 #7000		紺	-	-	-	-	-	-	-	180	180	-	180	-	180	-	180	180	180			
	#9000		甲	-	-	-	-	152	157	162	167	172	-	178	-	184	-	190	196	-			
正紺 #10000	紺	-	-	-	-	-	-	-	205	205	205	205	205	205	205	205	205	205					
2	FC	ポリエステル 65% 綿35%	甲	36	36	36	36	43	43	43	43	50	-	50	-	50	-	50	50	-			
	エステル袴		紺, 甲	33	36	36	39	39	42	42	45	45	-	48	-	48	-	51	51	-			
	エステル袴		白	-	-	36	39	39	42	42	45	45	-	48	-	48	-	51	51	-			
	エステル製袴		白	48	50	50	54	54	58	58	61	61	-	64	-	64	-	67	67	-			
3	エステル製袴	ポリエステル 65% レーヨン35%	紺, 甲	47	50	50	53	53	56	56	60	60	-	63	-	63	-	67	67	-			
	テトロノ1000		紺, 甲, 白	55	55	55	60	60	65	65	70	70	-	75	-	75	-	83	83	-			
	エステル特製袴		紺, 甲	-	-	-	-	-	63	63	67	67	-	71	-	71	-	75	75	-			
	エステル特製袴		紫, 臙脂, 茶, 芥子	-	-	55	59	59	63	63	67	67	-	71	-	-	-	-	-	-			
	エステルブリーゾ袴		紺, 甲	-	-	-	-	-	90	90	94	94	-	98	-	98	-	102	102	-			
	エステルブリーゾ袴		白	-	-	-	-	-	90	90	94	94	-	98	-	98	-	102	102	-			

ついて表9に示す サイズは適合身長95cmの16号から身長185cmの29号までであった 材質別には3つに分類される。激しい運動と汗への対応と思われるが、分類1と2に綿が使用されており分類1の綿100%の材質では太綾や厚地の品名や5000番~10000番までに5段階の生地厚さがあつたりして9種類がみられた 綿100%の価格は2,000~20,500円であった 分類2のポリエステル65%・綿35%の材質では価格3,300~6,700円であり、分類3のポリエステル65%・レーヨン35%の材質では4,700~10,200円であった 色は白、紺、甲が一般的であるが、化繊地には紫、臙脂、茶などの華やかな色もみられた

要 約

女子大生が利用する袴の種類、構成寸法、素材及び価格について調査した結果、次のことが考察できた。

1 袴の種類構成では、襦無のあんどん型の女袴には卒業式用、弓道、巫女用がみられた また女子でも、襦有で馬乗り型の男袴を利用するのは能・狂言や日本舞踊の芸能関係、そして弓道を除く剣道、薙刀や居合などの武道にみられた

2 卒業式用袴は手軽に利用でき、種類も豊富なレンタル需要が年々増加している 袴の種類には従来からのウールや化繊地の無地やほかし、さらに刺繍や金箔の染柄を加えた華やかな袴がみられた また最近ではそれと対称的に縞や緋の模様もあり、全体に個性化してきていると思われる 袴だけのレンタル料は5,000~13,000円であった

3 能・狂言装束での袴類では庄文袴が主体であり、素材も絹、麻等で仕立上りの価格80,000~120,000円の高価な素材が主であるがプロミックスなどの絹の光沢や風合を持った化繊地の

袴も扱われており価格38,000～47,000円であった

4 舞踊袴や巫女用袴ではS, M, Lや小, 中, 大のサイズで既製品があり, 色や柄も豊富にそろっている。素材は化繊地が主で舞踊袴の価格は18,500～48,000円, 巫女用袴では20,000円であった。

5. 弓道袴や剣道袴などの武道用では適合身長95～185cmまでに16～29号の豊富なサイズの既製品があり, スポーツウエアへの適応からか綿100%や綿とポリエステルやレーヨンの混紡が多く価格は2,000～20,500円であった。

本調査から現在では和服の袴は販売や縫製そしてレンタルにかかわる各社においても立派なカタログが常備されており, 既製品が手軽に利用出来る状態が把握できた。また袴の素材も絹, ウール, 木綿, 麻の天然素材に加えて化繊の種類もかなり増えてきており, 用途に応じた袴の種類構成と素材とのかかわりについてのポイントをとらえた教育の重要性があると考えられる。

参 考 文 献

- 1) 豊田幸子, 山本寿子:名古屋女子大学紀要家政・自然編, 42, 33～41 (1996)
- 2) 奈良女子高等師範学校裁縫研究会:裁縫精義5帯及び袴篇, 82～197, 東洋図書 (1955)
- 3) 松井和哥, 主婦の友社:和裁全書, 372～382, 主婦の友社 (1956)
- 4) 藤田とら.改訂新版和服裁縫, 142～153, 光文社 (1962)
- 5) 清水とき, 清水登美:現代和裁全書, 294～304, 金園社 (1967)
- 6) 岩松マス:和服裁縫礼服編, 20～62, 67～73, 雄鷄社 (1970)
- 7) 大塚末子:新きもの作り方全書, 168～178, 216～231, 文化出版局 (1972)
- 8) 堀越すみ, 婦人生活出版部:和服裁縫全書, 285～288, 婦人生活社 (1972)
- 9) 波多江穂野, 森タミエ:和裁全書, 237, 主婦と生活社 (1976)
- 10) 興津佳平:和裁の吹きだまり, 207～221, 255～259, 興津佳平 (1979)
- 11) 興津佳平:専門和裁技能教科書(三), 51～80, 全国和裁団体連合会 (1980)
- 12) 滝沢ヒロ子:和裁⑥晴れ着・はかま, 永岡書店 (1980)
- 13) 藤本やす, 高月智志子:大裁男袴・大裁女袴, 11～75, 衣生活研究会 (1985)
- 14) 株式会社井筒:井筒, カタログ (1995)
- 15) 廣部商事株式会社:’96製品あんない, カタログ (1996)
- 16) 株式会社ミツボシ:武道, カタログ (1996)
- 17) 綿常株式会社:日本民謡踊り衣裳, カタログ (1996)
- 18) 綿常株式会社:きぬずれ踊衣裳, カタログ (1996)
- 19) 綿常株式会社:’96花の民謡, カタログ (1996)
- 20) 綿常株式会社:全国民謡踊り, カタログ (1996)
- 21) ナゴヤ弓具本店:ナゴヤ弓具本店価格表, カタログ (1996)
- 22) 鈴乃屋レンタルフテイノク有規, カタログ (1995)
- 23) 新宿小田急百貨店衣裳サロン, カタログ (1995)
- 24) 池袋東武百貨店プライダルサロン, カタログ (1995)